

## イエシュアは主

2010年2月7日 アシェル・イントレーター

新約聖書で最も重要な宣言は「イエシュアは主」です。イエシュアは主と言うためには、主の権威を理解することです。それは簡単に言いますと、主が言われることは何でも行うという意味です。これに対する正しい対応を、これとは逆の例から学ぶことができます。

### ルカ 6:46

なぜ、わたしを『主よ、主よ。』と呼びながら、わたしの言うことを行なわないのですか。

私たちは、キリストを主と呼ぶだけでなく、主がおっしゃることを行わなければなりません。新約聖書で「最も恐ろしい」御言葉に、多くの人が「主よ」と呼びますが、彼らは霊に満たされた信者のように見えますが、実際彼らは惑わされていると述べています。

### マタイ 7:21-23

わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者がはいるのです。

その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう、『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』

しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します、『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』

信仰と基本的に品行方正で主に従うことが分離していると、それは大いなる惑わしの源であり、それはあまりにも甚だしく、「多くの者」が自分は救われていると考えていますが、実際そうではないということです。「多くの者」という言葉に、どれほどこの問題が広がっているかを示しています。多くの者は告白だけに基づいて救いがあると考えていますが、服従の誓約が欠落しています。

### 主の主権と救い

「イエシュアは主である」という言葉は新約聖書の使徒書簡の中に3回出てきます。最初は、この告白と救いに関する問題を取り扱っています。

### ローマ 10:9

なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。

この箇所は、告白だけが必要であるということを明示するため引用されます。しかし、この告白は真摯なもので、心からのものでなくてはなりません。イエシュアは主と口で告白することは、主に従うという契約的誓約を結ぶことです。私たちは主に従うという契約的誓約を宣言して、それを無視することはできません。

このような最も基本的な救いの宣言は、私たちの口から出る最初の言葉として、主の主権と主に對する服従を宣言するものです。イエシュアの主権を宣言する御言葉を使って、救いとは服従なき告白であると証明するのは非理論的です。イエシュアが主であると宣言しつつ、キリストを主としないでおけるでしょうか。

キリストの主権と救いのある者は分けて、あたかも救いが最初のステージで、主権が次のステージで、オプションだとするのです。しかし、ローマ 10:9 には、主権の告白こそ核心であり救いの最初のステップなのです。

### 霊的な賜物

私たちは聖霊の賜物を好み、それは当然のことです。イエシュアの主権に関する二番目の告白は「カリスマ的な」賜物に関連するものです。

### 1コリント 12:3-4

ですから、私は、あなたがたに次のことを教えておきます。神の御霊によって語る者はだれも、「イエスはのろわれよ。」と言わず、また、聖霊によるのでなければ、だれも、「イエスは主です。」と言うことはできません。さて、御霊の賜物にはいろいろの種類がありますが、御霊は同じ御霊です。

世界には多くの超自然的経験があります。あるものは神からのものであり、またあるものはそうではありません。それを分ける線はイエシュアの主権です。イエシュアは主というのは表面的なことを口にすることはなく、主に従うと心から誓約するものです。

もし私たちが聖霊による奇跡的な賜物に関わっていながら主に従わない場合、キリストの主権を宣言することは意味のない唱え文句であり、霊的な賜物が「メシアニック」あるいは「クリスチャン」という外見を持つ一種の魔術に成り下がってしまいます。

私たちが主に従って聖霊の賜物を行使するならば、それらの賜物は強力な道具となり、聖霊が私たちの生活を通して働かれ、周りにいる人々に触れるのです。イエシュアの主権をカリスマ的賜物と分けてしまうことは、魔術に至る危険な道です。聖霊の賜物に品行方正な服従を組み合わせることにより、神の御国の超自然的な力を解き放つことができるのです。

## 霊的な権威

イエシュアの主権は、私たちの生活に主の権威が関わることです。私たちが主の権威の下にあるならば、私たちは主の権威を持つことができます。もし私たちが主の権威の下にないならば、私たちは主の権威を持ちません。ローマの百人隊長は単純な信仰の法則を述べています。権威は上向きにも下向きにも及ぶということです。

### ルカ 7:8

**と申しますのは、私も権威の下にある者ですが、私の下にも兵士たちがいまして、そのひとりに『行け。』と言えば行きますし、別の者に『来い。』と言えば来ます。また、しもべに『これをせよ。』と言えば、そのとおりにいたします。」**

すべての真の権威は神からイエシュアを通して人類に及びます。権威はたった一つの流れで、それは主の玉座から流れ出るのです。あなた方はその中にあるか、ないかです。もしあなた方が主の権威の中にあるならば、あなたには権威が与えられています。もしその中にならば、あなた方はそれを持っていません。霊的な権威を持つ鍵はイエシュアの主権の下にあることです。

### ピリピ 2:8-9

**キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。それゆえ、神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。**

ピリピ 2 章はイエシュアが持っていた同じ態度を私たちも持つように呼びかけています。主はご自身をへりくだらせて死にまで従いました。それゆえ主はすべてを越えた権威が与えられたのです。もし私たちが完全に従うところまで誓約するならば、私たちも同様に霊的な権威が与えられるのです。イエシュアは主です。神がイエシュアに与えられた権威の一部を私たちに分与したいと望まれているのです。

神が私たちに権威を与えたいと思っておられることを知るのには、大いなる啓示です。権威の鍵は従うこととイエシュアの主権です。

## 個人的なお知らせ

ベティと私は、息子イエハツケルとその妻オデリアが、最初の子の出産を控えていることを喜んでお知らせ致します。

私たちはまた、息子フレディがエルサレムにあるヘブライ大学での学士「旧約聖書学と国際関係学」を修了したことを喜んでお知らせ致します。

先週行われたイスラエルのテレビ局での録画インタビューに関して継続して祈りを覚えてください。いつそれが放送されるのか、私たちはまだ待っています。